



東久留米市立久留米中学校

令和7年 3月 14日

〒203-0052
東久留米市幸町5-9-11
TEL 042 (471) 0030
FAX 042 (472) 7994

久留米中だより

教育目標 「知性を高める 心を豊かにする 体を鍛える」



「卒業・進級に向けて令和6年度を振り返る」

校長 木下 信久

3月も第2週となり、いよいよ3年生は来週18日(火)の卒業式が迫ってまいりました。1・2年生も再来週25日(火)には修了式を迎え、新年度の進級に向けて準備をする時期となりました。さて、ここで本校の教育目標から令和6年度を振り返ってみたいと思います。

東久留米市立久留米中学校 教育目標

平和で民主的な国家形成のため、社会連帯性と実践力に富んだ主体性のある個性豊かな社会人を育成する

○知性を高める

○心を豊かにする

○体を鍛える

本校の教育目標には、「平和で民主的な国家形成のため、社会連帯性と実践力に富んだ主体性のある個性豊かな社会人を育成する」という前文があります。社会性とは責任感やコミュニケーション能力、協調性、社会的マナーやモラルなど、社会の一員として生きるために求められる総合的な性質のことを指します。連帯とは、2つ以上のものが結び付いていることであり、「社会連帯性」とは「他者とつながっていること」や「同じ仲間であるという意識」を踏まえてさまざまなことに取り組んでいくことであると捉えることができます。

2学期の後半から3学期にかけて、3年生全員を対象とした校長との面接練習を行いました。「久留米中学校はどんな中学校ですか？」の問いに対して、3年生の生徒は「先生と生徒との距離が近い」や「気軽に先生に相談することができる」「明るくて元気な人が多い」「行事が盛り上がる」などの答えが多かったです。中には「一人一人の考え方の違いが認められ、個性に寄り添ってくれる学校」との回答もありました。とても嬉しい回答であり、今後も生徒の個性が更に尊重される学校にできるようにしなければならない、と強く感じた瞬間でもありました。

一方、一見、明るい表情や笑顔を見せてくれていても、家庭のことや友達との関係、学習への心配など、心の中には不安や心配で押しつぶされそうになっている生徒もいるはずです。「主体性のある個性豊かな社会人を育成する」ためには、生徒本人の置かれているさまざまな状況や背景までを理解した上で、生徒自身が自分の言動を調整することが必要であると考えます。しかし、生徒に友達が置かれている背景までを理解した言動を求めることはなかなか難しいことです。だからこそ、生徒を取り巻く大人(地域や保護者の方々、教職員)が、子どもたちの置かれている背景や状況を理解し、適切な対応をすることが大切だと考えます。その雰囲気を生徒が感じることで、生徒自身も望ましい言動をとることができるようになっていくものだと思います。

令和6年度は、学校教育目標の実現に向け、本校の行動指針を示したうえで新たな取組を行ったり、これまでの取組に変更を加えたりしてきました。このことは、学校ホームページに「学校評価報告書」及び「学校関係者評価まとめ」として掲載しておりますので、お時間がありましたらご確認いただくと幸いです。

令和7年度も、久留米中学校の更なる発展を目指して、全教職員で新たな学校づくりに挑み、前例にとられない教育活動を拓き、生徒、保護者、地域の皆さまと和をもって取り組んでまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【望ましいデジタル環境について考える】

本校には「学校 SNS ルール」があり、学校ホームページにも以下の内容を掲載しています。

- SNS を利用するのは午後11時までにしよう
- テストや大切な行事の前には使用時間を減らそう
- 安心・安全に使用するためにフィルタリングをつけよう
- 自他の個人情報他人に知られないように気をつけよう
- 相手の気持ちを考えて、メール等は送る前に読み直そう

しばらく前に考えられたルールですが、子どもたちは自分事として捉えることができているのでしょうか。また、SNS に関わる各家庭でのルールはどうなっているのでしょうか。

3学期に入り、いくつかの SNS が絡んだ生活指導が発生しており、学校としても対応に苦慮する場面が多い現状があります。個人のアカウントやパスワードは大切な個人情報であり、友達に教えることも、友達の情報を聞き取り使用することもあってはならないことです。SNS 等に依存してしまい、スマートフォン等の端末に自分の生活を支配されているような状態になってはいないでしょうか。

今後、デジタル社会の中で生きていく子どもたちには、「活用、自律、行動規範」の力を身に付け、高めることが求められていきます。

「学校 SNS ルール」については、生徒一人一人が自分事として捉え、活用時に意識することができるようにしなければなりません。そのためには、内容の改定も含めて検討する必要があります。保護者の皆さまにおかれましても、お子様の健全な育成と、デジタル社会を生き抜くために必要な力を授けるために、今、学校で起きている課題を共有していただき、家庭での指導や「SNS 家庭ルール」についても考え、実践していただくことが必要だと捉えております。

地域清掃

3月8日(土)、久留米中学校生徒会と久留米地区青少年健全育成協議会共催のもと、久留米中学校地区の地域清掃が行われました。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で地域清掃は中止、または規模を縮小して行いましたが、今年は約6年ぶりに豚汁の炊き出し、温かいお茶の配布も再開し、去年の倍近い130名を超える生徒たちの参加がありました。

地域清掃に出発する前には、市役所から環境安全部ごみ対策課の職員のみなさまに来て頂いて、3R(リデュース・リユース・リサイクル)や、地域清掃ボランティアで拾ってよいゴミなのかを判断する視点についてお話を頂きました。

その後の地域清掃では、5手に分かれ、黒目川沿い東西、小金井街道、下里本邑通り、さいわい通りをみんなで一生懸命ゴミを拾い、きれいなまちづくりに貢献することができました。帰校後の豚汁と温かいお茶は冷えた身体を温め、「町の掃除した後食べると、いつもよりおいしいね」とキラキラした笑顔で談笑しながら食べる姿が印象的でした。

今回、地域清掃を行うにあたって、保護者の方々御家庭の御準備、久留米地区青少年健全育成協議会の会員のみなさま、市役所の職員のみなさまの多大なるご協力感謝申し上げます。ありがとうございました。



生徒会 担当